

詩人・谷川俊太郎とフォークシンガー・小室 等  
 そしてアール・ブリュットの作者たち  
 3つの「表現」がNO-MAの空間で交差する  
 2024年、開館20周年を迎えたNO-MAが  
 あらためて「ボーダレス」を問いかけます  
 表現者らが紡ぐ「限界とあわい(間)」をお楽しみください

**詩 谷川俊太郎** Tanikawa Shuntaro  
 「詩人の墓」「あげます」「生きる・いま生きているということ」  
 「絵本の世界(へいわとせんそう、せんそうしない)」ほか

**アール・ブリュット**  
**古賀翔一** Koga Shoichi      **音響デザイン 谷川賢作** Tanikawa Kensaku  
**後藤拓也** Goto Takuya      **朗読 佐野史郎** Sano Shiro  
**舛次 崇** Shuji Takashi      **企画・構成 小室 等** Komuro Hitoshi  
**辻 勇二** Tsuji Yuji

**塔本シスコ** Tomoto Shisuko  
**西岡弘治** Nishioka Koji  
**村田清司** Murata Seiji

展示デザイン: 合同会社アトリエカフエ  
 音響・映像技術: 株式会社デンキトンボ  
 広報物デザイン: yamasin(g)

主催: ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
 社会福祉法人グロー (GLOW) ~生きる事が光になる~  
 後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会  
 協力: 特定非営利活動法人コーナス アトリエコーナス  
 社会福祉法人一羊会あとろえずすかけ  
 社会福祉法人さわらび会 障害福祉サービス事業所 明日香  
 社会福祉法人しがらき会信楽青年寮、社会福祉法人風舎、福迫弥麻  
 近江八幡観光物産協会、しみんふくし滋賀、マエダクリーニング仲屋店

舛次 崇《スプレーとポットと皿とコップと瓶》2009年

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 20周年 企画 vol.2

# Borderless

Margins and Interplay

2024年(令和6年)10月19日(土) — 12月15日(日)

時間 11:00 — 17:00

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 


滋賀県近江八幡市永原町上16[旧野間邸]

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日) / 観覧料: 一般 500円(450円) 高大生 450円(400円)  
 ※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料 ※( )内は20名以上の団体料金

「限界とあわい」

**アクセス**

- 電車・バス: JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]  
 →乗車 約10分→バス停[大杉町八幡山ロープウェイ口]下車→徒歩 約8分→NO-MA
- 車: 名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA  
 ※駐車場に限りがありますので、満車の際は有料駐車場などをご利用ください。
- 駅からレンタサイクル: 駅リンクン近江八幡店(近江八幡駅北口)→15分→NO-MA
- 駅から徒歩: 近江八幡駅→約30分→NO-MA

近江八幡駅からのルート案内動画 

**障害などを理由にNO-MAに行くか迷っている方へ**  
 「さわって楽しめるものはある?」「これが苦手なだけけど大丈夫?」「静かにしなくてもいい?」など、あなたやあなたの周りの方が気になっていることや、必要なサポートを教えてください。合理的配慮の観点から、できる限りの情報提供やスタッフによる対応を行います。なお、本展では、見えにくい方や聞こえにくい方、字を読むのが苦手な方に向けての「情報保障」や、さわって楽しむ展示物を準備しています。詳しくはQRコードからご確認ください。





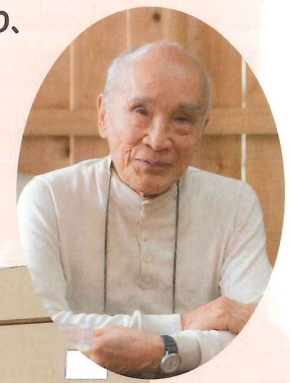


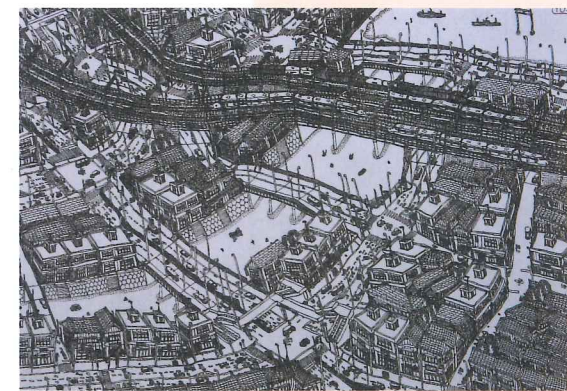
Photo: Mizuho Fukahori

谷川俊太郎の詩がさまざまなかたちで浮かび上がり、アール・ブリュット作品、音楽(音)とが あいまった空間を生み出します。ときには、文字として、ときには、朗読として語りかけます。

展示イメージ



直訳すると「生みの芸術」となるフランス語。画家ジャン・デュビュッフェが1945年に考案した言葉で、自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術を指す。



辻 勇二《心でのぞいた僕の街》2016年



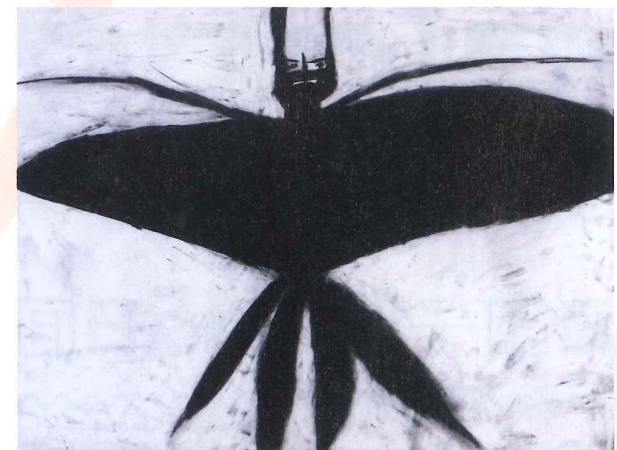
塔本シスコ《私の窓からのながめ》1995年



村田清司《無題》1987~1991年



西岡弘治 《楽譜16》 2005~2013年



舛次 崇 《こうもり》2003年

古賀翔一 《立山蛙》2006年(左) 《鴉坊》2006年(中) 《立山蛙》2006年(右)



後藤拓也 《ホッチキスの家》 制作年不明



**小室 等** 1968年、グループ「六文銭」を結成。75年、泉谷しげる、井上陽水、吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。信楽青年寮で作られた土鈴に魅了されたことをきっかけに、80年代後半より音楽と福祉を横断する活動を開始。2012年の糸賀一雄記念賞第十一回音楽祭より総合プロデューサーを務める。糸賀一雄生誕100年記念楽曲「ほほえむちから」、書籍「プロテストソング」、アルバム「プロテストソング2」など、詩人・谷川俊太郎との共同作業を多数手がける。認定NPO法人「ゆめ風基金」呼びかけ人代表。



小室 等  
ヴォーカル、ギター



坂田 明  
アルトサクソフーン



谷川 賢作  
ピアノ



高良久美子  
パーカッション



こむろ ゆい  
ヴォーカル、ウクレレ



吉田 隆一  
バリトンサクソフーン

Event 1 オープニングスペシャル企画  
「音が誘う交差する表現世界 Part 1」

本展にて音響デザインをした谷川賢作をはじめ、糸賀一雄記念賞音楽祭でおなじみの4人の音楽家がLIVEで、詩とアール・ブリュットとインスタレーションします。アフタートークでは、音楽評論家として第一線で活躍し続ける北中正和氏をお迎えし、「限界とあわい」をテーマにした本展を通して、1960年代から現代にいたるアートシーンを考察します。

10月27日(日)

出演 小室 等、谷川賢作、高良久美子、吉田隆一

- ①13:00~ 音案内人 谷川賢作
- ②14:00~ 音案内人 吉田隆一
- ③15:00~ 音案内人 高良久美子
- ④16:00~ 音案内人 小室 等+全員
- ⑤16:45~17:45 アフタートーク ゲスト: 北中正和(音楽評論家)

会場: ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
料金: 観覧料  
※申込不要。ご来場多数のときは入場を制限することがあります。

Event 2 「音が誘う交差する表現世界 Part 2(コンサート)」

本展の魅力をライブコンサートで再現します。

12月1日(日) 14:00~16:00

出演: 小室 等、谷川賢作、高良久美子、吉田隆一、こむろゆい  
会場: 酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) 料金: 1,000円

Event 3 トーク&LIVE「悼む詩ージョン・レノンに捧ぐー2days」

ジョン・レノンへのエレジーから恋愛賛歌まで、巨匠2人がトークと音楽で紡ぎます。本展のエンディングを飾るスペシャルな2 daysです。

12月7日(土) 8日(日) 両日も 14:00~16:00

出演: 小室 等(フォークシンガー・本展企画構成)  
坂田 明(サキソフーン奏者)  
会場: 酒游館(滋賀県近江八幡市仲屋町中6) 料金: 1,000円  
※両日の内容は異なります。それぞれに申込みが必要です。

●イベント2、3のお申し込みはこちらのフォームより



お問い合わせ ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16[旧野間邸]  
Tel/Fax: 0748-36-5018 Email: no-ma@lake.ocn.ne.jp https://no-ma.jp

関連イベント